

# #9システム設計書のバージョン管理法の確立

Excel以外で設計書を作成、管理したい。

## 取り組む内容

- ・ [#9システム設計書のバージョン管理法の確立](#)
  - [取り組む内容](#)
    - [1.Excelに変わる新たな設計書作成手段の導入](#)

### 1.Excelに変わる新たな設計書作成手段の導入

メリット

- ・ テキストなので軽い
- ・ Git等でバージョン管理が行える
- ・ 変更履歴を差分として残すことができる
- ・ シーケンス図などが簡単にきれいに記述できる
- ・ 見た目がきれい
- ・ html, pdf, docxファイルなど他形式への変換が可能
- ・ 環境に依存しない（Officeが無くても使える）

デメリット

- ・ 表の作成がしにくい → VS CodeだとExcelの表をコピーで簡単に作れる ([参考](#))
- ・ 画像をURL指定する必要がある → 調査中、修正に手間がかかりそう  
([参考：GitHubで画像を管理する方法](#))

エクセル、ワードとの比較

シーン	エクセル, ワードの仕様書	マークダウン仕様書
差分	とれるツールもあるが使い勝手が悪い	Git diffで変更箇所が明確
修正点の指摘	指摘リストのエクセルなどを作り、担当が修正し、再度確認を行っている。	GitHubを利用すればプルリクエストで第三者も容易に修正提案ができ、マージを終了した時点で修正が完了し、再度確認をする必要もない。
表作成	エクセルが使いやすい	エクセルには勝てないが、エクセルの表から変換可能。cvsファイルも読み込み可能。
変更管理	変更管理ページを設け記載するため、変更記録に抜け漏れが発生する。わざわざ修正箇所を赤字にしている。	バージョン管理ツールにログとして残るため明確
仕様書参照	技術的には可能(ハイパーリンク機能)だが運用されていないため、毎回文書を開き直し、該当箇所を探している	相互にリンクを貼ることが当たり前になっていて、問題の箇所がすぐに見られる